

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10



【発行】

川崎市老人福祉施設事業協会

〒213-0001

川崎市高津区溝口1-6-10 てくのかわさき内

TEL : 044-812-1231 / FAX : 044-812-2077

http://www.kawasaki-roushikyo.org/

年頭の御挨拶



川崎市老人福祉施設事業協会
会長 深瀬 亮一

新年明けましておめでと
うございます。

皆さんには、健やかに新
春をお迎えのことと、心よ
りお慶び申し上げます。

昨年は「おだかの郷」
「フレンド神木2番館」
「ヴィラージュ虹ヶ丘」が
開設され、市内の特別養護
老人ホームも50施設とな
り、養護老人ホーム・ケア
ハウス（軽費老人ホー
ム）・単独デイサービスセ
ンターを併せると62施設の
仲間とともに迎える新年と
なりました。

あらためて、日頃より協
会事業等にご協力をくださる
法人及び施設の皆様、川崎
市並びに川崎市社会福祉協
議会等の関係者の方々に深
く感謝を申し上げます。



今年には介護報酬引き下げと
いう課題を抱えての年越しと
なりました。国家財政の厳し
い折、予想されていたことと
はいえ、特別養護老人ホーム
にとつて厳しい状況です。世
間には「特養は儲かっている」という誤った認識が広
まっています。皆様と力を
合わせて我々の声を正
確に国に届けられるよう努め
てまいります。

また、川崎市においては今
年4月から地域包括ケアシス
テムの構築に向けた具体的な
取り組みがスタートします。高
齢者福祉のみならず、川崎市
に住む全員の根幹となる施策
です。スムーズな形でスター
トできるよう関係各位と協力
してまいります。
そのあかつきには、「最幸の
まち川崎」最も幸せなまち川
崎という、まちづくりの一翼
を担ってまいります。

多くの課題がありますが、
一つひとつ皆様と協力・協働
して良い方向になるように取
り組んでまいります。

どうぞ更なるご支援を賜り
ますようお願い申し上げます。
今年が皆様方にとって最
良の年でありますようご祈念
申し上げます、年頭のご挨拶とさ
せていただきます。

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10



川崎市老人福祉施設事業協会におかれましては、老人福祉施設協議会をはじめ、本会の事業推進に対しまして、格別のご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。



社会福祉法人川崎市社会福祉協議会
会長 佐藤 忠次



年頭の御挨拶



さて、近年、高齢者施設をとりまく環境は、不安定な状態が続いております。本年は介護保険制度の改正、介護報酬改定の年ということで施設にとっては大きな変化が予想されます。さらに、介護人材不足についても深刻化しております。いつの時代にも「人と関わる仕事をしたい」という若者はいます。貴協会は、人材確保に対して積極的に取り組まれており、そういった若者に対して、安心して介護の世界に飛び込めるような人材確保に対する取り組みや活動に期待する次第です。

末筆となりますが、貴協会の益々のご発展と、会員の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



福祉施設のご紹介

社会福祉法人 中川徳生会
特別養護老人ホーム ビオラ川崎

〒210-0843
川崎市川崎区小田栄2-1-7
TEL:044-333-0001 / FAX:044-333-0036

2階は定員40名のショートステイフロア・3〜5階フロアは定員120名の本入所フロアの大規模なユニット型施設となっております。また地域包括支援センター、居宅介護支援センターも併設しています。1階のロビーは当施設自慢の広々とした共同スペースがあり、ご利用者さま・ご家族さま以外にも地域の皆さまにもご利用をして頂くことができるようになっており、開放的な施設となっております。

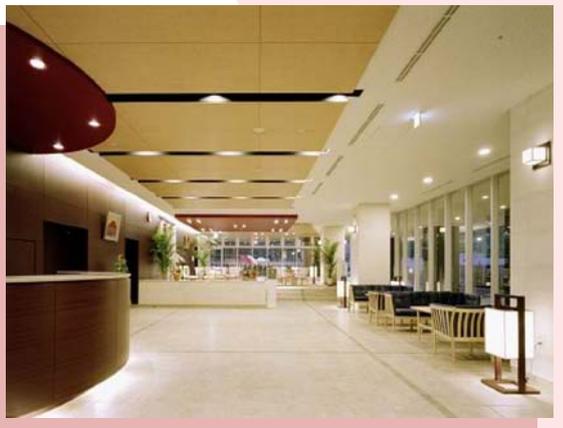
特別養護老人ホーム・ビオラ川崎は平成17年12月に開所しました。今年度で10年目を迎えます。



「生＝生活の中で寄り添う介護」
「き＝きずこう信頼関係を」
「が＝がんばろう。ご利用者さまのため、自分達のため」
「い＝いきいきと絶えない笑顔」



またビオラ川崎ではご利用者さまの「生きがい」の介護方針を作っています。



【1階ロビー】

そして、昨年8月には毎年恒例である夏祭りを行いました。昨年の夏祭りは例年と大きく変わり、当施設近隣の町内会さまとの共同開催として、ご利用者さま・ご家族さま、地域の皆さまに喜んでいただけたと思っています。

このスローガンを元に各部署が協力し合い連携強化しながら、ご利用者さまに施設生活を安心して楽しく過ごしてもらえよう、各スタッフが協力しあい各種委員会や研修会など活発的に行われています。



【夏祭り】



地域のボランティアさまも協力があり、踊りや太鼓を披露していただきました

福祉施設のご紹介

社会福祉法人 読売光と愛の事業団
介護老人福祉施設 よみうりランド花ハウス

〒214-0006
 川崎市多摩区菅仙谷4-1-4
 TEL:044-969-3111 / FAX:044-969-3112

川崎市内で第1号の全室個室ユニット型施設として誕生し、今年3月に開設10周年を迎えます。富士山や多摩の山々を望む高台にあり、緑あふれる環境が自慢です。約90人の介護職員が、入居者（150床）とショートステイの利用者（10床）を支えています。

「その人を知り、何を必要としているのかを探り、実践する」をモットーに、利用者一人ひとりの意向を踏まえた個別行事の充実など個別ケアを追求しています。



《入居者の「思い」に寄り添います》



「福祉の授業」では、スライドやビデオを使って認知症について小学生に説明▲

併設されたデイサービスは、個別性・選択性のあるサービスが特長です。毎日、約40人の利用者が、手芸や絵手紙、ネイルケアなど、数種類のメニューの中から好きな活動を選び、「大人の余暇」を楽しんで頂いています。

また、「最期まで花ハウスで暮らしたい」という入居者や家族の思いに添えるため、看取りケアを推進しています。ケアの質を高めようと、ケアプランや認知症などをテーマに外部講師による職員研修を毎月開いています。

プロ野球観戦や保育園児との交流、レストランでの外食など多彩な行事は、入居者に喜ばれています。

社会福祉法人として、地域貢献活動にも力を入れています。介護職員が小学校で「福祉の授業」の講師を務め、車イスの使い方や認知症について伝えています。独居の高齢者や介護中の家族など、誰もが気軽に立ち寄れる地域カフェ「しゃべり場花カフェ」を今年2月から始めます。利用者のみならず、地域住民にも親しまれる施設を目指しています。

▼デイサービスの利用者が
 ペーパークラフトで作ったバック



施設最大のイベント「秋祭り」では、介護職員が入居者と一緒に懐メロを歌いました▲

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10

理事長・施設長合同研修会



平成26年11月17日に川崎日航ホテルにて理事長・施設長合同研修会が行われた。講師は慶應義塾大学名誉教授の田中滋先生、テーマは「地域包括ケアシステムと社会福祉法人の在り方について」であった。

田中先生は川崎地域包括ケアシステム検討協議委員会委員長を務められ、都市部川崎における地域包括ケアシステムの取り組みが先駆的であると評価されている。



研修の前半は社会福祉法人制度をめぐる環境が厳しいものであると指摘された。具体的には特別養護老人ホームを運営することを批判する者は誰もいないが、社会福祉法人が保守的運営、巨額の内部留保、経営責任の認識の違いなどによる批判を受けていることを強調された。そこで社会福祉法人は地域での公益的な活動、運営の透明性確保、組織体制強化により世間の信頼を得る努力をすべきであると話され、そのことが私たち社会福祉法人の役割であることを痛感した。

後半は日本の長寿命化に対応する取り組みとその能力の高さを説明され、二〇二五年に団塊の世代が後期高齢者となる超少子高齢化社会に向けて地域包括ケアシステムの(植木鉢)図を示された。そして医療介護総合確保推進法には19の法律が集約されており、この地域包括ケアシステムの実現に向けてしっかりと取り組んでいく手順をご教示された。



今後の自治体は多様化するニーズに 대응べく様々なサービスを創り出し地域包括ケアシステムを形成するが、その中でも特別養護老人ホームを持つ社会福祉法人が積極的に介入し重要な役割を果たすことを期待されていた。

今回の講義を傾聴し、社会福祉法人の在り方を再確認するとともに、少子高齢化社会のなかでどのような取り組みをすべきか、また、特別養護老人ホームに期待されていることの大きさを改めて感じる事ができた、有意義な研修会であった。



～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10

老人ホーム作品展開かれる!!



台風一過秋晴れのもと、当協会主催（後援 川崎市・川崎市社会福祉協議会）の「平成26年度かわさき老人ホーム作品展」が10月7日から3日間川崎市民プラザにおいて盛大に開催されました。

この作品展は、市内の養護老人ホーム・特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・ケアハウスを利用する高齢者が、日頃製作した作品を持ち寄り、互いに励まし合い、喜びや感動を共有し、作品を通してご利用者同志の交流を図ることを自的に、毎年芸術の秋に相応しいこの時期に開催されております。

会場も市民プラザ3展示室を使い、52施設から過去最高の1000点を越える作品が会場一杯所狭しと展示されました。

オープニングセレモニーでは、利用者代表恵楽園の関口和子さん・市社協佐藤会長・当協会深瀬会長及び石野・長谷川両副会長によるテープカットが華々しく行われ開幕となりました。

テーブルカットが済むと待ちわびていた利用者が会場に入り、急がれる方ゆつくりと車椅子で廻る方など、いつもと変わりない会場の風景となりました。

ご自身の作品の前に来ると「私の私のだ。名前も書いてあるヨ。」と大喜びのご利用者もみられ、作品の前での記念撮影には「いいよ、いいよ」と遠慮される姿も微笑ましく、それでも職員に促されて、ちよつびり恥ずかしそうに写真におさまっていました。

その後も会場には多くの利用者が見られ、「フーいっばいあるねー」「これうちのだよ。皆さんで作ったのだよ。凄いな。」と製作した頃を思い出している懐かしさがありました。



着物の作品の前では、「これいいネ。鮮やかだね。着て帰りたいヨ。作るのに気が遠くなるネ。」などと話しているのと、そこに製作者が来て「わー、これあなたが作ったのすごいねー」と言葉をかけられ、恥ずかしそうにしながらもちよつびり見せる満足げな笑顔に、努力して良かったと思わせる安堵の姿が印象的でした。

果物「桃」の作品の前では「うまそうだね。」との声も聞かれ、本物と見間違つまでの作品に、只々関心しきりでした。

〈次ページに続く〉

～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10



<ギャラリー>



<ふるさとコーナー>



さすが大きな会場も所狭しとごった返し、前評判に負けない大盛況の入りでした。



<暮らしの川柳コーナー>

「こうやってみると私達のは大雑把だね。」と楽しく話しながら会場内を見て廻る方や、「これだったらできそうだね。」「今度、皆さんでこういうのをつくらうヨ。」「と今から相談している方等、来年に向かって作品の構想を練っている様でした。

今年出展を見送った施設も見られましたが、来年は是非多くの作品に出会えることを楽しみに、芸術の秋にふさわしい作品展はここに閉幕となりました。

最優秀作品は、今回は2点、ヴィラージュ川崎の川平彌榮子様の「いつの日も 心は自由春の雲」、同じくヴィラージュ川崎の小椋武様の「松茸と 秋刀魚とくれば 五合酒」が選ばれました。

同時に行われた「暮らしの川柳」の展示では、114点の作品応募があり、最優秀賞・優秀賞の作品は投票で決まることから、利用者も一点一点真剣に読んで、時としてしみじみ「考えたねー。」と腕組みをしながら感心しきりでした。それでも川柳だから風刺の効いたのを選ばなくちゃ」と自信に満ちた笑顔で投票されていました。

しかし、年々大きな作品が少なくなっている感じがしますが、それもこれも介護職員の手が減っているのが原因ではないかとチョッピリ心配になりました。

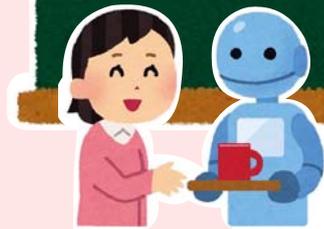
～楽しい福祉を皆さんに!!～

らくふく瓦版

Vol.10

《 川崎市長あて平成27年度予算要望す 》

- 1 特別養護老人ホームの建替えについて
- 2 介護報酬改定に向けた対応について
- 3 地域包括ケアシステム構築に向けた連携について
- 4 介護職・看護職の人材不足解消について
- 5 音楽療法推進事業の充実について
- 6 介護支援ロボットの普及について
- 7 社会福祉法人に対する法人税課税の回避について



10月14日 当事業協会深瀬会長、石野・長谷川両副会長他理事20名が川崎市役所を訪れ、福田紀彦市長あて平成27年度老人福祉施設に関する要望書を手渡しました。

要望内容は次のとおりです。

昨年の異常気象や火山災害、また、暮れの衆議院選挙など慌ただしい限りでしたが、消費税増税の先送りやこの度の選挙結果が今後私たちにどう影響するか気がかりであります。

新しい年を迎え、皆様には目標を掲げ希望をもって、それぞれスタートしたことを思います。

編集後記

第27回 老人福祉施設研究発表会開催のお知らせ

日時：平成27年2月26日(木) 13:30(開会)
 場所：川崎市総合福祉センター大会議室
 (旧エポックなかはら)
 中原区上小田中6-22-5



今年も楽しめる誌面づくりにスタッフ一同知恵を絞ってまいります。ご期待を！

27年には介護報酬改定も行われませんが、「財源がない。だから介護報酬の引き下げもやむなし」との噂もあり、今年も益々厳しい施設運営となつてきそうです。

らくふく瓦版10号では、本会深瀬会長・市社協佐藤会長の年頭の挨拶、恒例となつていきます施設紹介による講演(テーマ:地域包括システムと社会福祉法人の在り方について)、行政への予算要望、文化事業(作品展)を掲載いたしました。